伯内政（２０１４年サンパウロ州知事選挙：ダタ・フォーリャ社世論調査）

７日付当国フォーリャ・デ・サンパウロ紙は，３日から５日にかけてダタ・フォーリャ社により実施された本年のサンパウロ州知事選挙及びアルキミン州政権の評価に関する世論調査につき報じている。

１．世論調査の結果

（１）ダタ・フォーリャ社が６月３日から５日にかけて６１市の２，０２９人を対象に実施したサンパウロ州知事選挙に関する世論調査によれば，主な候補の支持率は以下のように推移している。

　　　　　　　　　　　　　　　　昨年１１月　　　　６月

アルキミン州知事（PSDB）　　　　　　４３％　　　４４％

スカフィFIESP＊前会長（PMDB）　　　 １９％　　　２１％

カサビPSD党首（PSD）　　　　　　　　　８％　　　　５％

パディーリャ前保健大臣（PT）　　　　　４％　　　　３％

白票／無効票　　　　　　　　　　　　１７％　　　１６％

分からない／無回答　　　　　　　　　　９％　　　１０％

＊サンパウロ州工業連盟

（２）主要候補への支持率は昨年末に行われた前回調査から変わらず，アルキミン州知事が一次投票で再選するシナリオとなった。他方，自己回答方式（選挙候補者を調査側が明示せず，回答者自ら投票する名前を挙げてもらう方式で，候補者に対する固定支持票を探る方式として有効と考えられる）では，アルキミン州知事への投票率は昨年デモ前１９％から，デモ後１５％，今回１０％と低下傾向にある点も指摘された。

（３）アルキミン州知事陣営の副知事候補にも挙げられるカサビPSD党首が出馬しないシナリオでは，アルキミン州知事が４４％→４７％と支持率を伸ばす一方，スカフィFIESP前会長は２１％，パディーリャ前保健大臣は４％と票を伸ばせず，アルキミン州知事が対立候補と差を広げる結果となった。

（４）同時期に行われたアルキミン州知事政権に対する評価は以下の通り。

　　　　　　　　　　　　　昨年１１月　　　　６月

非常に良い／良い　　　　　　　４１％　　　４１％

普通　　　　　　　　　　　　　１７％　　　１８％

悪い／非常に悪い　　　　　　　　３％　　　　３％

２．各陣営の動き

（１）アルキミン州知事（PSDB）

アルキミン州知事への支持を表明したPSBは，独自候補の擁立を取り止めた。これは，カンポスPSB党首の大統領選挙についてPSDBサンパウロ陣営より支持を取り付ける為に，PSBサンパウロ陣営が行った判断。尚，PSBのシルヴァ元環境大臣は同党のアルキミン州知事支持は誤りであると非難し，PSB内のRede派（「シ」元大臣が政党登録を目指していたRede Sustentabilidadeの流れを汲む同党員）から独立候補を擁立する案を未だ捨てずにいる。

（２）パディーリャ前保健大臣（PT）

パディーリャ前保健大臣の支持伸び悩みについて，ルセーフ大統領に近い人物及びルーラ前大統領は，資金洗浄容疑等で連邦警察の取り調べを受けるドル商アウベルト・ヨウセッフ氏との関連が疑われPTから離党処分となったヴァルガス元下院副議長や，当地犯罪組織のPCC（首都第一コマンド）と会合を持った事が報じられたルイス・モウラ・サンパウロ州議員（PT）等により，PTの党イメージが悪化したことが原因との見方を示した。尚，パディーリャ前保健大臣はヨウセッフ氏とヴァルガス元下院副議長が保健省と接触を図った際に手助けをしたとの報道を明確に否定している。

（３）スカフィFIESP前会長（PMDB）

スカフィFIESP前会長陣営はPDTと連立を組み，副知事候補として同党ジョセ・ロベルト・バトチオ元連邦下院議員（Jose Roberto Batochio：ルーラ政権下でのパロッシ元財務大臣の弁護士を務めた人物）を選択した。尚，スカフィ前会長はPDT以外にもPROSの支持を取り付けているが，両党はこれまでPT候補のパディーリャ前保健大臣を支持していた。

（４）カサビPSD党首（PSD）

アルキミン州知事陣営の副知事候補にも挙げられるているカサビPSD党首ではあるが，アルキミン州知事支持を表明したPSBも同党マルシオ・フランサ（Marcio Franca）連邦下院議員を副知事候補として指名している。ただし，ルセーフ大統領再選への支持を表明しているカサビPSD党首が，大統領選挙においてカンポスPSB党首へ支持を変更すれば，PSBは州副知事のポストをカサビPSD党首に譲るとしており，PSD・PSB間の駆け引きが行われている。（了）